



2025年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年3月21日

上場会社名 サツドラホールディングス株式会社 上場取引所 東・札
コード番号 3544 URL <https://satudora-hd.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 富山 浩樹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 小西 憲明 TEL 011-788-5166
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第3四半期の連結業績(2024年5月16日~2025年2月15日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2025年5月期第3四半期 | 75,684 | 4.9 | 1,288 | 39.8 | 1,271 | 45.9 | 703 | 48.1 |
| 2024年5月期第3四半期 | 72,116 | 10.0 | 922 | 170.8 | 871 | 141.4 | 475 | 134.0 |

(注) 包括利益 2025年5月期第3四半期 741百万円(49.6%) 2024年5月期第3四半期 495百万円(133.6%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年5月期第3四半期 | 50.83 | — |
| 2024年5月期第3四半期 | 34.42 | 34.41 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|-------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2025年5月期第3四半期 | 49,163 | 9,777 | 19.6 |
| 2024年5月期 | 44,905 | 9,240 | 20.3 |

(参考) 自己資本 2025年5月期第3四半期 9,651百万円 2024年5月期 9,128百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年5月期 | — | 0.00 | — | 10.00 | 10.00 |
| 2025年5月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2025年5月期(予想) | — | — | — | 10.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の連結業績予想(2024年5月16日~2025年5月15日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|-----|-------|-----|-------|-----|-----------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 100,000 | 4.7 | 1,400 | 1.1 | 1,350 | 1.0 | 480 | 2.0 | 34.71 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 — (社名) 一、除外 2社 (社名) RxR Innovation Initiative株式会社、株式会社シーラクス

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結範囲の重要な変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|------------|-------------|------------|-------------|
| 2025年5月期3Q | 14,236,564株 | 2024年5月期 | 14,236,564株 |
| 2025年5月期3Q | 475,909株 | 2024年5月期 | 391,177株 |
| 2025年5月期3Q | 13,848,734株 | 2024年5月期3Q | 13,808,925株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| 第3四半期連結累計期間 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (連結範囲の重要な変更に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 10 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（2024年5月16日～2025年2月15日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、景気は緩やかに回復しております。一方で、物価上昇や金融資本市場の変動等の影響など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主に事業を行うドラッグストア業界におきましては、各社の積極出店や品揃え拡大により市場規模が拡大する一方で、業界の垣根を越えた競争の激化や既存企業間の出店競争、M&Aによる寡占化のほか、物価の上昇や実質賃金の減少による節約志向の高まりなど、当社グループを取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループは2026年5月期を最終年度とする中期経営計画において「地域の生活総合グループへの進化」をテーマに、「店舗の生活総合化戦略」「地域プラットフォーム戦略」「コラボレーション戦略」の3つの成長戦略と、組織戦略に取り組んでおり、中核事業であるリテール事業の収益基盤を強化しつつ、事業領域を「モノを売る」だけの小売から「モノ×サービス」を提供する生活サービスの領域に拡大することにより、競合他社との違いをつくりながらグループ全体の成長を目指しております。

店舗の生活総合化戦略としては、調剤併設店舗の拡大に取り組むとともに、商品カテゴリーの拡大に向けたラインロビングの一環として生鮮食品の取り扱いを進めており、今期は46店舗に導入いたしました。また、「エブリデー・セイム・ロープライス（ESLP）」を中心とする価格戦略と「サツドラ公式アプリ」を活用したデジタルマーケティングの推進を通じて、収益基盤の強化に取り組んでおります。

地域プラットフォーム戦略としては、2025年1月末現在、北海道共通ポイントカード「EZOCA」会員数が220万人を突破し、提携店も290社（1,000店舗）を超え、EZOCA経済圏は成長を続けております。当別町との事例では、当社3例目となる自治体還元型ポイントカード「とうべつEZOCA」を札幌圏で初導入いたしました。買い物金額の一部を町に還元する仕組みを導入することで、「官×民×地元商店街」で連携して持続可能なまちづくり支援の形に取り組んでおります。また、店舗内に当別町西当別支所も開設しているサツドラ当別太美店もオープンしております。小清水町との事例では、住民がドライバーとして自家用車を使用し地域を支える新しい地域交通サービス実証事業「KOSHIMOタクシー（こしたく）」を、官民共同で開始しており、その運用においてEZOCAのプラットフォームを活用したEZOポイント付与等を行っております。さらに、当社5例目となる、スポーツチーム還元型EZOCAとして、2025年1月30日に一般社団法人ロコ・ソラーレと共同で「ロコ・ソラーレEZOCA」を発行いたしました。

コラボレーション戦略としては、新たに日高町と包括連携協定を締結し、地域住民の健康づくりや町民サービスの向上など地域の社会的課題解決を通して、持続可能な地域に愛されるサツドラ店舗づくりを目指しております。2025年2月現在、自治体や企業等と40件以上の各種協定を締結しております。

組織戦略としては、経営戦略の実現につながる人材戦略の策定や実行の強化と、健康経営の推進にも積極的に取り組み、経済産業省と日本健康会議が共同で選定する「健康経営優良法人2024ホワイト500」に認定されております。また、ガバナンス体制を強化し、コーポレート・ガバナンスコード全原則の適用を実施しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は756億84百万円（前年同期比4.9%増、35億68百万円増）、営業利益は12億88百万円（同39.8%増、3億66百万円増）、経常利益は12億71百万円（同45.9%増、4億円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億3百万円（同48.1%増、2億28百万円増）となりました。

セグメント業績などの概要は、次のとおりであります。

<リテール事業>

主に北海道内でのドミナント化を目指したドラッグストアフォーマット店舗と調剤薬局店舗のチェーン展開に加え、訪日外国人が多く訪れる観光地などでのインバウンドフォーマット店舗の運営を中心に行っております。また、調剤薬局においては、調剤専門薬局の運営に加え、ドラッグストアフォーマット店舗での調剤併設薬局も行っております。

ドラッグストアフォーマット店舗の営業面では、ESLPを中心とする価格戦略を推進することで、お客さまから支持される店舗づくりや、作業平準化による業務効率の改善を目指すとともに、生鮮食品を含めたラインロビングの強化により、商品カテゴリーの拡大を図っております。また、サツドラ公式アプリを活用したデジタルマーケティングの推進にも取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、物価上昇による生活防衛意識の高まりを受け、1人あたりの買上点数は減少したものの、商品単価の上昇や化粧品等の需要が回復してきた結果、ドラッグストアフォーマットの売上高は前年同期を上回りました。

インバウンドフォーマットにつきましては、訪日外国人観光客の需要を取り込むことができた結果、売上高は前年

同期を上回りました。調剤薬局につきましては、新たに開設した調剤併設薬局の増収効果などにより、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、リテール事業の売上高は744億11百万円（前年同期比4.6%増、32億93百万円増）、セグメント利益は11億71百万円（同34.7%増、3億1百万円増）となりました。

店舗の出退店の状況につきましては、下表の通りとなりました。

(出店状況)

| 店舗区分 | フォーマット区分 | 2024年5月期末 | 増加 | 減少 | 2025年2月度末 |
|-----------|------------------------------|-----------------|--------------|------------|-----------------|
| ドラッグストア店舗 | ドラッグストアフォーマット (うち 調剤併設薬局) | 179店舗 (17店舗) | 6店舗 (4店舗) | 4店舗 (-) | 181店舗 (21店舗) |
| | インバウンドフォーマット | 9店舗 | 1店舗 | - | 10店舗 |
| 調剤専門薬局店舗 | 調剤専門薬局 | 11店舗 | - | 2店舗 | 9店舗 |
| その他の店舗 | 北海道くらし百貨店 | 1店舗 | - | 1店舗 | - |
| 合計 | | 200店舗 | 7店舗 | 7店舗 | 200店舗 |

<その他事業>

北海道共通ポイントカード「EZOCA」を活用した地域マーケティング事業や決済サービス事業、ユーザー目線での課題解決を目指したPOSアプリケーションなどの開発・販売、当社既存事業とのシナジーや新規事業創出を目指すCVC事業などを行っております。当社グループの強みである北海道共通ポイントカード「EZOCA」の会員数は、2025年1月末現在、220万人を超えております。決済サービス事業においては、非接触型決済への需要が高まるなか、国内キャッシュレス決済は引き続き堅調に推移いたしました。また、当社既存事業とのシナジーや新規事業創出を目的に設立したコーポレートベンチャーキャピタル（CVC）である株式会社SVenturesは2024年10月をもって2周年を迎え、2年間の実績としましては、AI・リテールテック・ヘルスケア・フィンテック領域を中心に累計12社に投資、このうち、北海道発のスタートアップ企業へも合計6社に投資しており、地域経済の成長と新たな産業の発展に貢献しております。

その他事業の売上高は15億97百万円（前年同期比21.1%増、2億78百万円増）、セグメント利益は62百万円（同313.6%増、47百万円増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ42億58百万円増加し491億63百万円となりました。これは主に、有形固定資産が3億52百万円増加したことに加え、当第3四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったことにより、現金及び預金が12億86百万円、売掛金が14億48百万円増加したことなどによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ37億21百万円増加し393億86百万円となりました。これは主に、未払金が7億36百万円、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む）が13億35百万円増加したことに加え、当第3四半期連結会計期間の末日が金融機関の休日であったことにより、買掛金が61億74百万円増加、短期借入金が44億円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億37百万円増加し97億77百万円となりました。これは主に、利益剰余金が配当金の支払いにより1億38百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益により7億3百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月期連結業績予想につきましては、2024年6月20日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年5月15日) | 当第3四半期連結会計期間 (2025年2月15日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,675 | 3,962 |
| 売掛金 | 2,810 | 4,258 |
| 商品 | 10,657 | 11,064 |
| その他 | 4,284 | 4,809 |
| 流動資産合計 | 20,428 | 24,094 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 8,496 | 9,410 |
| 土地 | 4,051 | 4,082 |
| その他（純額） | 2,409 | 1,816 |
| 有形固定資産合計 | 14,957 | 15,310 |
| 無形固定資産 | 471 | 802 |
| 投資その他の資産 | | |
| 敷金及び保証金 | 6,683 | 6,522 |
| その他 | 2,375 | 2,445 |
| 貸倒引当金 | △11 | △11 |
| 投資その他の資産合計 | 9,047 | 8,956 |
| 固定資産合計 | 24,477 | 25,068 |
| 資産合計 | 44,905 | 49,163 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2024年5月15日) | 当第3四半期連結会計期間 (2025年2月15日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 9,276 | 15,451 |
| 短期借入金 | 5,000 | 600 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 966 | 1,091 |
| 未払金 | 4,922 | 5,659 |
| 未払法人税等 | 302 | 295 |
| 賞与引当金 | 643 | 387 |
| その他 | 1,082 | 1,052 |
| 流動負債合計 | 22,194 | 24,536 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 10,173 | 11,384 |
| 退職給付に係る負債 | 737 | 782 |
| 資産除去債務 | 819 | 834 |
| その他 | 1,739 | 1,847 |
| 固定負債合計 | 13,470 | 14,849 |
| 負債合計 | 35,664 | 39,386 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,003 | 1,003 |
| 資本剰余金 | 2,105 | 2,107 |
| 利益剰余金 | 6,352 | 6,918 |
| 自己株式 | △269 | △337 |
| 株主資本合計 | 9,192 | 9,691 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | 4 |
| 繰延ヘッジ損益 | △10 | 14 |
| 為替換算調整勘定 | △64 | △64 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 9 | 6 |
| その他の包括利益累計額合計 | △63 | △39 |
| 非支配株主持分 | 112 | 126 |
| 純資産合計 | 9,240 | 9,777 |
| 負債純資産合計 | 44,905 | 49,163 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月16日 至 2024年2月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月16日 至 2025年2月15日) |
|------------------|--|--|
| 売上高 | 72,116 | 75,684 |
| 売上原価 | 54,700 | 56,632 |
| 売上総利益 | 17,416 | 19,052 |
| 販売費及び一般管理費 | 16,494 | 17,764 |
| 営業利益 | 922 | 1,288 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 17 | 18 |
| 固定資産受贈益 | 9 | 6 |
| その他 | 82 | 102 |
| 営業外収益合計 | 108 | 127 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 107 | 132 |
| 支払手数料 | 42 | 1 |
| その他 | 9 | 9 |
| 営業外費用合計 | 159 | 144 |
| 経常利益 | 871 | 1,271 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 0 | - |
| 投資有価証券売却益 | 12 | - |
| 関係会社株式売却益 | - | 1 |
| 特別利益合計 | 13 | 1 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 7 | 2 |
| 固定資産売却損 | 0 | - |
| 減損損失 | 7 | - |
| 店舗閉鎖損失 | 36 | 2 |
| 特別損失合計 | 52 | 5 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 832 | 1,267 |
| 法人税等合計 | 351 | 549 |
| 四半期純利益 | 480 | 717 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 5 | 13 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 475 | 703 |

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月16日 至 2024年2月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月16日 至 2025年2月15日) |
|-----------------|--|--|
| 四半期純利益 | 480 | 717 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1 | 3 |
| 繰延ヘッジ損益 | 13 | 24 |
| 為替換算調整勘定 | 0 | 0 |
| 退職給付に係る調整額 | △0 | △2 |
| その他の包括利益合計 | 15 | 24 |
| 四半期包括利益 | 495 | 741 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 490 | 728 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 5 | 13 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(連結範囲の重要な変更に関する注記)

当社は、第1四半期連結会計期間において連結子会社であったRxR Innovation Initiative株式会社の全株式を譲渡したため、同社を連結の範囲から除外しております。

また、第1四半期連結会計期間において連結子会社であった株式会社シーラクスは、連結子会社である株式会社サッポロドラッグストアを存続会社として吸収合併されたため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年5月16日 至 2024年2月15日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|--------------|--------|--------------|----------------------------|
| | リテール 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| ドラッグストア | 62,221 | — | 62,221 | — | 62,221 |
| インバウンド | 4,406 | — | 4,406 | — | 4,406 |
| 調剤 | 3,299 | — | 3,299 | — | 3,299 |
| その他 | 613 | 989 | 1,603 | — | 1,603 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 70,540 | 989 | 71,530 | — | 71,530 |
| その他の収益 | 534 | 52 | 586 | — | 586 |
| 外部顧客への売上高 | 71,075 | 1,041 | 72,116 | — | 72,116 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 41 | 278 | 320 | △320 | — |
| 計 | 71,117 | 1,319 | 72,436 | △320 | 72,116 |
| セグメント利益 | 869 | 15 | 884 | 37 | 922 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソリューション事業、マーケティング事業及び教育事業等を含んでおります。

2. 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び持株会社運営に係る費用が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年5月16日 至 2025年2月15日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 四半期連結損益計算書 計上額 (注) 3 |
|-----------------------|------------|--------------|--------|--------------|----------------------------|
| | リテール 事業 | | | | |
| 売上高 | | | | | |
| ドラッグストア | 64,681 | — | 64,681 | — | 64,681 |
| インバウンド | 5,070 | — | 5,070 | — | 5,070 |
| 調剤 | 3,447 | — | 3,447 | — | 3,447 |
| その他 | 623 | 1,259 | 1,883 | — | 1,883 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 73,823 | 1,259 | 75,083 | — | 75,083 |
| その他の収益 | 553 | 48 | 601 | — | 601 |
| 外部顧客への売上高 | 74,377 | 1,307 | 75,684 | — | 75,684 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | 34 | 289 | 324 | △324 | — |
| 計 | 74,411 | 1,597 | 76,009 | △324 | 75,684 |
| セグメント利益 | 1,171 | 62 | 1,234 | 54 | 1,288 |

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ITソリューション事業、マーケティング事業等を含んでおります。

2. 調整額には、報告セグメント間の損益取引消去及び持株会社運営に係る費用が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年5月16日 至 2024年2月15日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月16日 至 2025年2月15日) |
|-------|--|--|
| 減価償却費 | 976百万円 | 1,003百万円 |